

福岡県中学校バスケットボール大会における 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン

1 会場への入場を認める者

- ① 各チーム顧問・コーチ・選手・審判員・保護者 15 名・学校職員 2 名まで
※選手について、ベンチ登録選手以外はスタンドから観戦。

2 試合会場入場の条件

- ① 会場入場前に各部で健康チェックカードを顧問が集約しておく。
※健康チェックカードは別紙参照
※健康チェックカードの対象は顧問、スタッフ、選手、保護者。

3 感染防止に関すること

- ① 感染防止のために遵守すべき事項（別紙参照）を適切な場所に設置する。
（入り口、競技場内、トイレ、更衣場所、待機場所など）
- ② ①の内容が遵守されているか会場内を定期的に職員が巡回する。
- ③ 原則、会場入場者にマスクの着用を呼びかける。
（競技中やウォーミングアップ時は除く）
- ④ 参加者にはマイタオル、マイボトルを準備させ、共有をしないように徹底させる。
- ⑤ 晴天時は会場内の窓やドアの常時開放し館内換気を徹底する。雨天時等、常時開放できない場合は、ハーフタイム、試合終了ごとに一斉換気を実施する。
- ⑥ 更衣室、休憩・待機スペースについては、諸室等を活用し、ゆとりをもたせて密になることを避ける。
- ⑦ 「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の接触を控えさせ、ミーティング等も短時間で言い、密にならないように指導する。
- ⑧ 机、椅子、機材等の使用した共有物は消毒を行う。
- ⑨ 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミの持ち帰りを徹底する。
- ⑩ 会場内で急に風邪症状が出た場合は、引率責任者が保護者及び学校管理職に連絡し帰宅させること。その場合、他の生徒等への健康観察を徹底させること。

4 会場利用についての注意事項

- ① 入場口は 1 カ所とし、受付を設け、入場者に手指消毒を呼びかける。
- ② 各中学校が会場となる場合、更衣、休憩・待機スペースは 1 チーム（15～20 名）に 1 教室程度の広さが望ましい。
- ③ 公共の体育館を使用する際は、一度に入場する人数の制限や使用時間割の作成を行うなど、密を避ける工夫を行う。
- ④ 使用した場所については消毒を行う。
- ⑤ 更衣室内は常時換気に努めさせる。
- ⑥ ゴミ箱は設置させない。（ゴミは全て持ち帰らせる）

5 ベンチ、TO席の利用について

- ① ベンチは椅子の間隔を1～2 m程度空けるようにする。
- ② TO席、モップ等補助役員も距離を空けて座ること。
- ③ TO機器、モップの柄、得点板等はハーフタイム、試合終了後に会場内の職員で消毒を行う。

6 手洗い場所、洗面所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒を行う。
- ② 手洗い場には石鹸（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ③ 「手洗い30秒以上」等の掲示をする。

7 ゴミについて

- ① 会場内にゴミ箱は設置しない。
- ② ゴミは全て各自で持ち帰らせる。
- ③ ゴミが落ちていた場合、回収する際はマスク、手袋を着用した者が回収する。

※その他、各会場ごとの感染症対策は別途、大会規定にて各チームに通知する。

会場で感染防止のために遵守すべきこと

1 会場利用に際して注意すること

- 各チーム決められた時間に来場すること。
- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること。
- こまめな手洗い、うがい、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、保護者、会場内職員との距離を確保すること。
- 更衣室の利用は原則更衣のみとし、長時間使用することがないようにすること。
- ゴミは各自で持ち帰ること。

2 試合中に注意すること

- ベンチ等では距離をとること。
- TO席、モップ等の補助役員も距離を空けて座ること。
- 水筒や飲料用ボトルの共有は行わないこと（マイボトルを準備する）。
- ハイタッチ、握手、肩組みなどの接触は行わないこと。

3 試合終了後に注意すること

- ベンチ、TO等の共有物は、試合終了ごとに消毒を行うこと。
- 手洗い、うがい、洗顔等を行い感染防止に努めること。
- 更衣後、使用した更衣室、休憩・待機スペースは換気を行い速やかに帰宅すること。
※利用後に消毒を行う。